

12/22 2001
インターンシップ説明会
高知大学



いかに
インターンシップを活かすか

栗原 孝洋

高知工科大学

電子・光システム工学科 三年

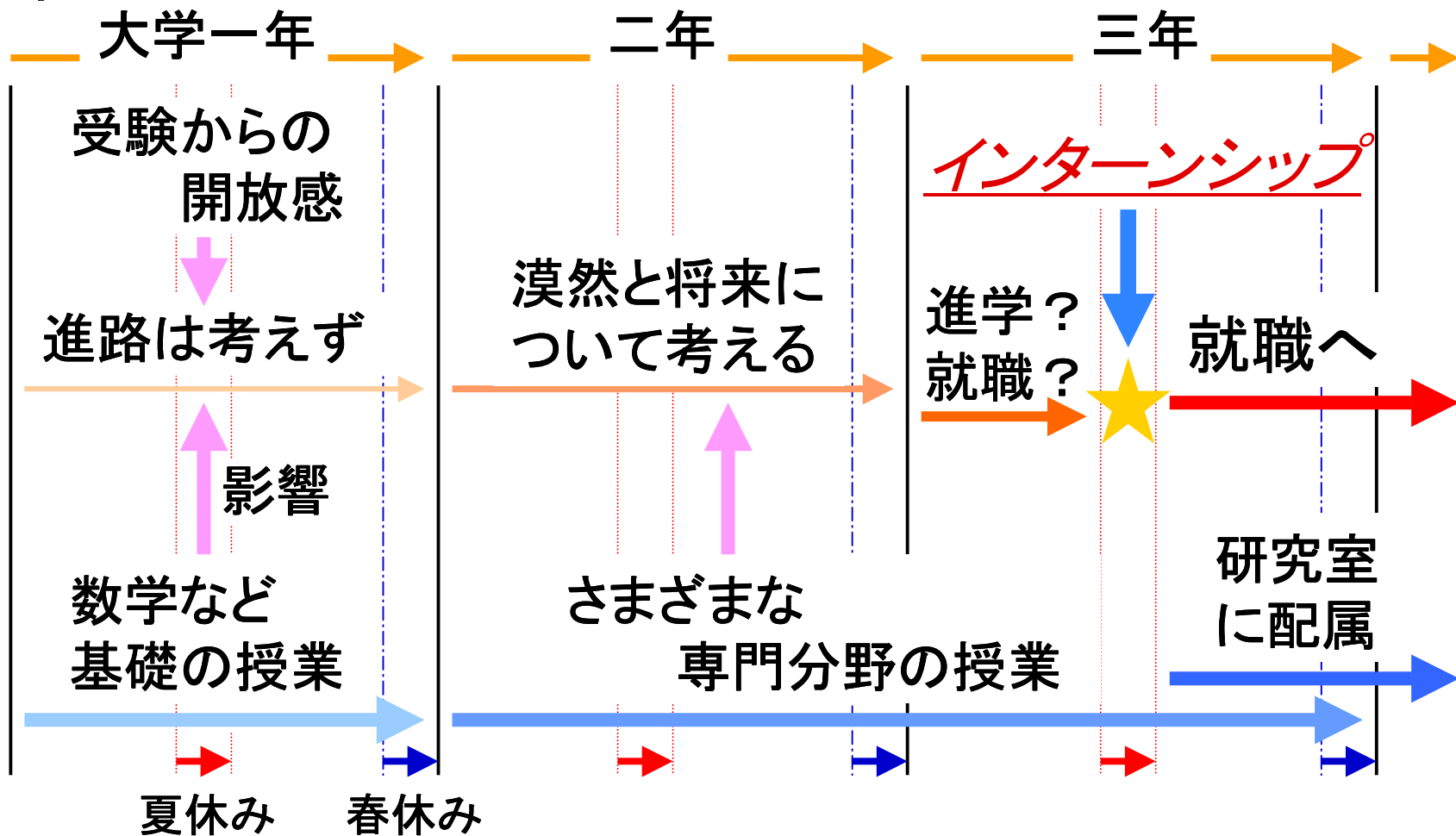
山本研究室



目次

- 大学生活とインターンシップ
- 企業の選択
- 実習内容と学んだ事
- 栗原プラン
- まとめ

大学生活とインターンシップ





企業の選択:高知カシオ株式会社

- TFT液晶パネルに興味があった。
- 実習内容にTFT液晶パネルの不良解析が含まれていた。

(一般的に考えて、不良品に関する事柄は外部には知られたくないのでは?)



より現場に踏み込んだ仕事が体験できる。
就職に対する不安を解消できる。



実習内容と学んだ事

- 一日目・・・会社概要と電話対応のビデオ、
社内案内と注意事項

電話は内部や外部との情報交換の大切な手段

確実なコミュニケーションによる、確実な情報交換



現在、大学でプレゼンテーションセミナーを行い、
短時間で確実に意見を伝える練習をしている。



実習内容と学んだ事

- 二日目・・・工場内の見学および説明

製造工程においてホコリは
不良の発生の原因となる。

→ クリーンルームに入る時は、ホコリを
入れない一人一人の意識と努力が大切となる。

↓

良い製品を作るためには、
技術面以外での努力も大切だと確認した。

実習内容と学んだ事

- 三～六日目・・・品質保証室で製品の保証試験

品質を保証する仕事は、絶対にミスは許されない。

ミス

- 大学では結果として勉強に繋がる。
- 企業の場合、マイナスにしかない。

大学では体験できないほどの緊張感を肌で感じる
ことができ、責任感の重要さを改めて実感した。



実習内容と学んだ事

- 七～十日目・・・検査室で不良解析

問題発生から改善までの作業で、

大学・・・(原因の詳細の解析)

企業・・・(原因の詳細の解析) + (スピード)

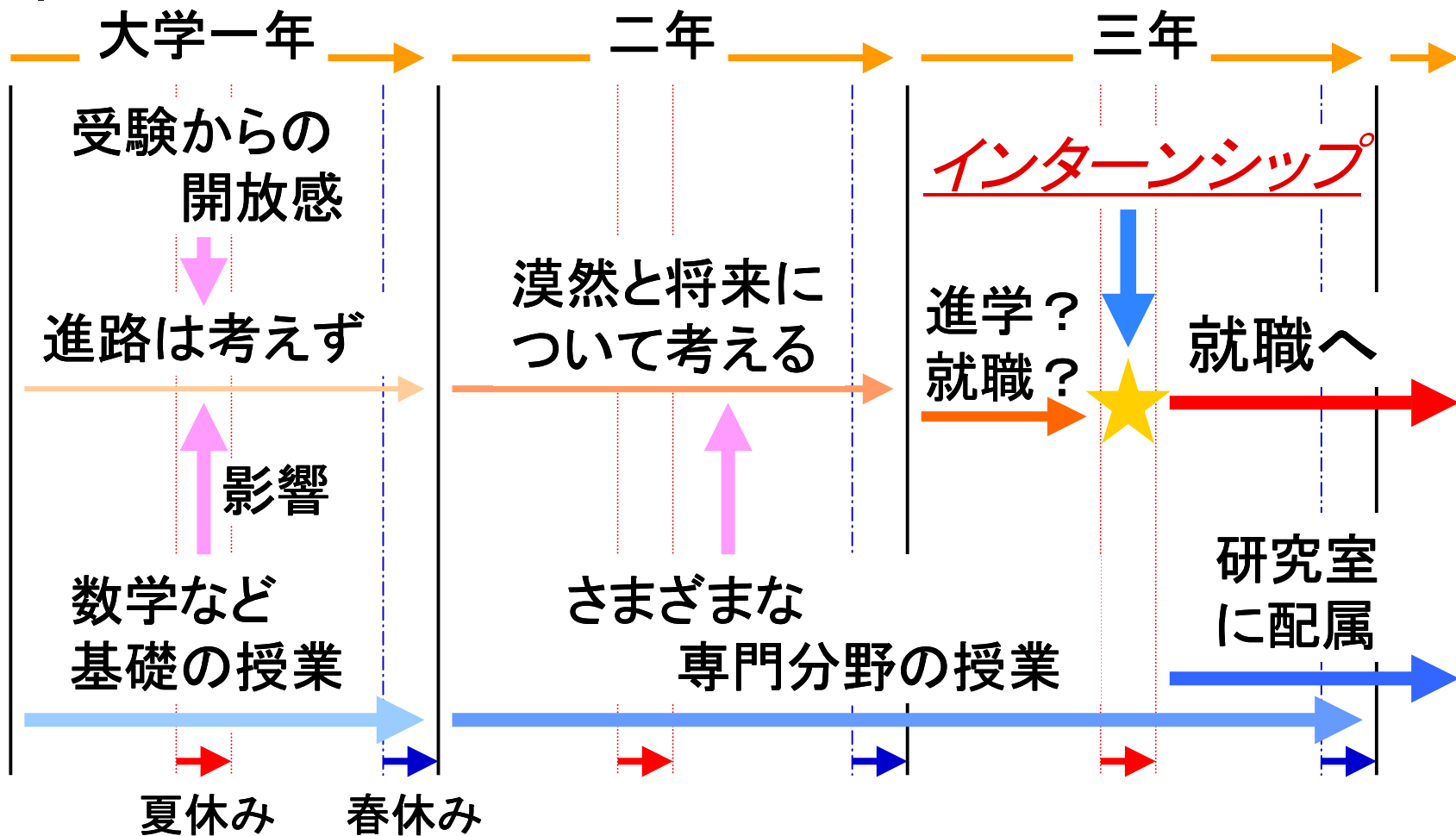
が要求される。



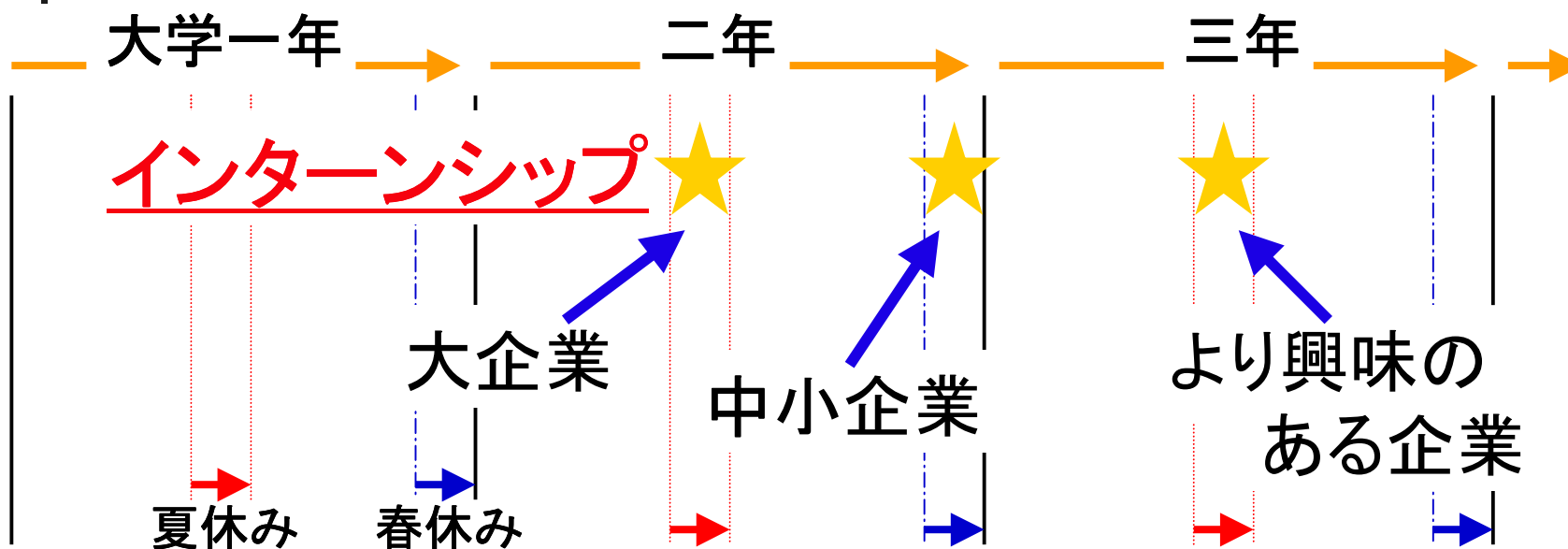
企業ではスピードは

とても重要な要素である。

大学生活とインターンシップ



栗原プラン



- 年を重ねるごとに進路について深く考えるようになる。
- イメージとして大企業では現場に踏み込めない。

学生の進路に対する意識と企業の要求とがうまくかみ合う。



まとめ

- インターンシップでは実際に仕事に触れることが出来るため、進路の選択に役立つ。
- インターンシップを体験させていただき、電話応対、コミュニケーションの大切さを学んだ。
- 企業において効率とスピード、そしてミスを犯さないための責任感が大学以上に要求されるということを実感できた。
- 栗原プランによりインターンシップがさらに効果的になる。



謝辞

高知カシオ株式会社

佐々木 祥之 リーダー

濱口 正浩 リーダー

刈谷 隆之 様

大変お世話になりました。

ありがとうございました。

栗原プラン

